

週刊文春

あからさまな思想調査、とまでは言うまい。しかし、一大学教授の「論壇時評」にお墨付きを与え極秘に省内に配布していたとあっては、外務官僚の無邪気なお遊びと片づけるわけにもいかぬ。だいいち波紋が大きすぎたのである。以下にご紹介しよう。問題の文書と、名指された論壇諸先生方の立腹と憫笑……。

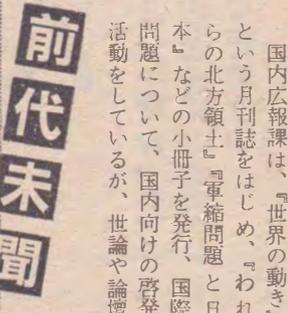
「こんな資料は、外務省では初めてでしょう。省内では、よく学者の論文資料が出ますが、こんどのように誰それはナニナニ派とか色わけしたのは、やり過ぎですよ」
ある元外相は、一読してこう感想を洩らした。
モンダイの文書はB5判十三ページにタイプ印刷された簡単なもの。表題もなく、最初のページに、次のような前書きがあるだけである。

〈昭57、9、10 国内広報課



中嶋嶺雄氏と問題の文書

「『大い』とある以上、これはアブルーバル（是認の意）な意味がこめられているわけですが。ただ参考にしてくれというのと微妙にニュアンスが違います」
文中「N教授」と報告者名が匿名にされていることも考え合わせれば、この文書、どうやら文責は外務省国内広報課にある性格のものであるらしい。



前代未聞

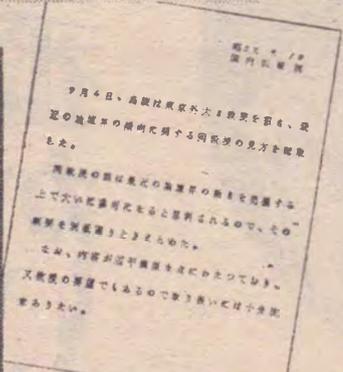
国内広報課は、『世界の動き』という月刊誌をはじめ、『われらの北方領土』『軍縮問題と日本』などの小冊子を発行、国際問題について、国内向けの啓発活動をしているが、世論や論壇

外務省「検定」マル秘「日本論壇地図」が採点した

坂本義和、江藤淳両教授の点数



外務省（左）に「孤立」と名指された江藤淳氏



「……江藤（淳）は論壇で孤立している感がある」
〈武者小路公秀等は……現段階ではファッションにしかすぎ

おとだけのお正月プラン
57年12/31-58年1/3

コースのご案内(お1人様/税・サービス料込)
各コースのご利用は、13才以上の方に限らせていただきます。

コース	人数	1泊2食	2泊4食	3泊6食
デラックス		¥27,000	¥51,000	¥67,500
スタンダード		¥19,000	¥37,000	¥48,000

●お1人様専用コース¥13,000(1泊)もございます。
●もちろん「東京ガイド」小冊子をプレゼント。

年越しやお初盆、郷愁をさそう切り絵展、ゴルフ・ターラウンドコーナーやパソコンによる健康チェックなど、くつろぎひろがる催し物を用意しております。

ご予約は、お早めに (03)433-4141

おもてなしの心
芝パークホテル
〒105 東京都港区芝公園1-10-5

おと 海岸遊歩② 重茂半島 鮫ヶ崎



今も息づく名画の舞台
鮫ヶ崎灯台

陸中山田と宮古南部にかけて太い根ばりを見せて太平洋に突き出した重茂半島。奇岩怪石、断崖は、隆起、沈降を繰り返した悠久な大地の葛藤の所産。荒々しい岩肌をむき出した絶壁の上に円型白亜の灯台。今は亡き佐田啓二の灯台守りの映画「喜びも悲しみも幾歳月」の舞台。濃霧と激浪の絶え間ない三陸航海安全の守り神として80年。厳しい自然との葛藤を刻む北国のシンボル。今、北の秘境は冬化粧……。

鮫ヶ崎灯台：本州最東端の無人灯台。明治35年初点灯、昭和25年再建。高さ33.75メートル。東経142°4'35"に位置。

浄土ヶ浜：約300年昔、常念寺和尚が発見。そこに極楽浄土を見て、浄土ヶ浜と名付けたと言われる。石英粗面の白い岩肌が紺碧の海に映える。宮古市の花ハマナスも咲く。

日出島：天然記念物のクロコシロウミツバメの繁殖地。

問い合わせ先
岩手県観光連盟 TEL0196-51-3111
東京案内所 TEL03-211-7776



東北を愛し・東北を考え・東北を拓く

ず、仮説の段階であると自分は見ている」
〔坂本(義和)論文などは口述筆記や講演記録などが主で自ら書きおろしたものでないなどから迫りに乏しくなっており……〕
また、総合雑誌に寸評を加えたり、特に保守派の内部対立に触れて、その象徴的な例は中



当然、名指されたメンメンの反応も興味あるところ。まずは「孤立」の江藤淳・東工大教授。「私はモノを書き始めて二十五年、一度も多数派であったことはないが、孤立しているとは思わない。最近やっている、占領下の検閲問題にしても、たいへんな共感を得ている。それに、ラ

川八洋の猪木(正道)批判であり、この場合はミニコミ紙の人達が中川氏応援団を形成し、従来の論壇主流派への批判を展開した」と記して昨年七月、「ソ連の代理人」と名指された猪木氏が中川氏を名譽キソンで告訴した事件をに合わせるなど、「サイビス精神」もなかなかのもの。「公文書」とは言えぬにしろ、お役所仕事にこれほど刺激的な表現があらわれたのは前代未聞ではなからうか。

「私のいろいろな文献を読んだ分析とは思えませぬ。非常識きわまりない話です。外務省は勉強してないから、何も知らないうです。ハーバードではレベルの高い文献が出るというのに、恥ずかしいですね」

全員が不快の念を隠さない

「ファッション」派の武者公路公秀・上智大学教授が、江藤氏、永井氏に比べ、なぜか元氣なく、一どなたが、どのように分類してもかまわないと思います。そうでしょうか？ と思うだけです。「極右」と言われたら心外で

「非力」の坂本義和氏
「別」にどうってほどのことはいません。現実派というけど、そんなもの存在しませんよ。私が空想主義者でないことだけは確かですが……(猪木正道・前防衛大学校長)

以下、
「私は右とか左とか言われたくないですよ。いい気持ちしません。そんなカタログみたいなもの作って、どうすんでしょう」(細谷千博・一橋大教授)



永井陽之助氏

論から、思想統制、警察国家の可能性まで示唆しながら一時間にならないうえ、例の弁舌さわやかなところを披露されたが、紙数の関係で略させていただく。
次に「甘ちゃん」永井陽之助・東工大教授(現在ハーバード大で教鞭をとっている)。
「私は右とか左とか言われたくないですよ。いい気持ちしません。そんなカタログみたいなもの作って、どうすんでしょう」(細谷千博・一橋大教授)

「別」にどうってほどのことはいません。現実派というけど、そんなもの存在しませんよ。私が空想主義者でないことだけは確かですが……(猪木正道・前防衛大学校長)

お歳暮に……

とこわか

《古伝の塩昆布》



大阪心齋橋

御昆布司

松前屋

全国有名百貨店に有り

- 梅新大天京く牧高な堺ミ上ア奈東和天野西布空京名
- 大阪満ず
- 田阪駅橋橋は方橋ば東ミ町ノ良阪山寺神宮施港前
- 阪神甘辛のれん街
- 鉄道弘済会売店
- 松坂屋味とのれんの名店街
- 京阪デパート
- 枚方近鉄百貨店
- 三越百貨店
- 高島屋
- 南地下センター虹のまち
- 近鉄百貨店名流のれん街
- ステーションデパート
- グリーンストア野田
- グリーンストア西宮
- 第一デパート
- AAS売店
- 京都近鉄百貨店
- 丸栄百貨店
- 松坂屋駅店

そもそも外務省は、この「思想調査」カタログを、いかなる意図で作ったのか――。

「内部資料なので、コメントできません。最近の論壇の状況についての一つの見方として参考になると思い、ペーパーにしただけです」

の一点張り。部数や配布先などいっさいマル秘とのこと。AN教授が誰なのかも教えてくれなかったが、この点は頭隠して尻隠さずというか、東京外語大N教授とあれば、すぐにわかっってしまう。ズバリ、中嶋嶺雄教授。

「そうです、私です」と認めて、中嶋教授自身が「見方を聴取」された経緯を説明する。

「私は外務省にはよく話をしに行っていましたし、論壇時評をや

っておりまして、最近の論壇について話してくれと依頼されて行きました。(手帖を出して)九月六日の午後ですね。相手は五、六人で、課長クラスは国内広報課長だけだったでしょう。オフレコに近い話もあり、個人の名前も出るので注意してくれ

とは言いましたが、文書にして省内に配布するとは、はっきり聞いていませんでした。その後ペーパーにするという連絡もなかったですし、もちろん、私から匿名にしてくれなんてことも言ってません」

中嶋教授は、佐藤内閣のブレインの一人。日中間題、沖繩返還の折など、佐藤首相にさかんに意見具申をしていたという。中国問題では第一人者といわれ、二、三年前から中ソ接近論を予言者の言い続け、このほ

どみごとの中させている。しかし、毀誉褒貶も激しいようで、「中国の内政の専門家ではあっても、防衛、安全保障問題の専門家として位置づけられるか」というと、それは無理。彼ひとり

で論壇を理解できるかどうかは疑問が残ります」(中川八洋・筑波大助教授)

「中嶋氏はアメリカでは評価されていません。こちらの中国研究所は、中ソ和解を、限定されたデタント」と見ているほどです」(前出・永井教授)

かつて、国際政治学会の運営委員に中嶋氏が選ばれそうになったときに、内部で、中立的立場の委員としてふさわしくないという理由で、落ちたこともあったという。

「なにしろ自論を吹聴してまわるタイプの人ですから、相手にしてません」(某政治学者) その中嶋氏は、しかし、自信たっぷり付け加えている。あ

一つのショッキングな事実

「内容的には、書き直して雑誌に発表しても構わない」と思っています。ふだん論壇時評でも書いていることですから。むしろ、外務官僚は不勉強なので、外務省がこういふことをやるのはいいことだと思います。中国など、中国社会科学情報研究所では、論文一欄があつて、小さな文章までファイルされている。あ

る人が現物を見たそうですが、一ぱく分だけでもすごい量だっというんです」

ところで、前出の中川筑波大助教授は、わが外務省が論壇の傾向に関心をもちはじめたのは外交・防衛問題に対する姿勢が変化したためだという。

「変化が生じたのは、レーガン政権誕生と期を同じくしてです。その頃から、アフガン問題などに象徴されるように、外務省がイニシアチブを握って対応しなければならぬような外交・防衛問題が噴出し始めたわけですから、それで、外交・防衛問題に影響を及ぼす専門家を中心とした論壇の傾向に、にわかに興味を持ち出したのではないでしょうか」

事実がある。日本の論壇研究では、すでにアメリカが先んじて、しかもより徹底的に行っていたというのである。

証言者は、ある外務省OB。

「アメリカが日本論壇の見取り図を作ろうとした動機は、昨年の五月、日米共同コミュニケーションの解釈をめぐる、鈴木首相の帰国後、伊東外相がやめましたよね、おれに端を発しているんです。アメリカは、この件で、日本の対応に大いに疑問をもった。それで日本の防衛意識を本腰入れて調査しておかないと、今後の対日外交戦略を誤ると考えたわけです。それで、昨年の夏、アメリカ政府の調査団が来日、九月には、その成果をマル秘で作成したわけです」

全体で数百頁の報告書の中で、論壇を分類しているのは、

「ソ連の脅威に関する日本の見方」という章(四十二頁)で、三つにグループ分けしてある。

- ①非武装中立論者(坂本義和、関寛治、豊田利幸、山口定など)
- ②(旧現実主義者(新ハト派))
- 猪木正道、永井陽之助、高坂正典、佐藤誠三郎、神谷不二、佐伯喜一など。
- ③新現実主義者(反猪木派及び

「不勉強のひと言に尽きる」

「日本においては、猪木をタカ派と呼ぶほど、日本の基準はおかしい。猪木は強烈な共和党嫌い、レーガン嫌いであり、感情的な論評が多い。①、②グループのような旧体制派が、日米の防衛関係を阻害している……」

この報告書は、アメリカ政府部内のそのスジが作成したもので、防衛庁OB(江藤淳、清水幾太郎、三好修、花井等)など、外務省OB氏が続ける。

「このうち①は論外ですが、②について、『ピントがずれていて、日本の防衛力増強に対してマイナスの存在、足手まといになっている』と分析しています。そして一瞥半にわたって猪木批判が載っています。」

「今回の外務省の部内資料は、アメリカ政府資料に遅れること

約一年。しかも日本の保守派の分析にしても内容的には雲泥の差をつけられている。これは重大なことです(外務省OB氏)もともと、外務省の検定、論壇地図のほうは、中嶋教授個人のフリーフィンク(情況説明)をもとに作成されたもので、比較すること自体、当を得ていないのかもしれないのだが。

ともあれ、アメリカ政府資料は防衛問題の諸情報を、日本のどの論者に提供すれば、日本の防衛意識が操作できるかの判断材料にされる可能性もあるというから、さすが超大国アメリカなどと感心してもいられない。日本側がアメリカの論壇を調査するなど夢のまた夢。なにしろ、このアメリカ政府版「論壇地図」を、外務省は入手もしていないというのである。

外務省の「論壇音痴ぶり」について、中嶋氏自身がこんなエピソードを紹介してくれた。「かつて京大の梅棹忠夫さんや桑原武夫さんが外国へ行った折、大使館に立ち寄っても、二人を知らない大使が何人もいたというんです。有名な話です」

外務省OBの法眼氏が、最後に総括して、「外務省はたしかに忙しいし、論壇のことばかり勉強してるわけにはいかない。それで、話を聞いたんでしようが、こんな話をあなたがたがするのは、不勉強の一語につきます。少し論文を読んでいれば、文書にして配るなんて考えないでしょう。人間、自分で勉強せんで、人にたよって物を見たら、間違えようよ」

安倍晋太郎・新外務大臣も、一総合雑誌を愛読すべし。

容姿淡麗 箱入美酒

美しい紙パックでお届けします。

淡麗なうまさ、秋田の美酒・爛漫。



新発売
ゴールドパック
 清酒一級 1,800ml 1,620円

シルバーパック
 清酒二級 1,800ml 1,200円

美酒 爛漫
 秋田銘醸株式会社

「二月下旬解散への布石」というけれど……

新内閣が証明した 目白の中曽根不信



外務省の検定秘「日本論壇地図」が採点した
坂本義和・江藤淳教授は何点？

アジア大会「ロス五輪どころじゃない」惨状

創価学会の「サンデー毎日」に激励の投書を
指令書入手

同性愛と「女の自立」に揺れた
評伝『女人吉屋信子』のリフ感覚

銀座の「元祖
フランス料理店」
高利貸しを手玉にとった
「倒産」レンガ屋女主人の「ラツ腕」

メテオ「日経」という情報工場 田原総一朗
フランス産
張本勲 老人結婚相談所長85歳の「絶倫」

張本勲 老人結婚相談所長85歳の「絶倫」

対談 引退する球界の「医学博士」木俣達彦
女性音楽家(27)を捨てて刺された
フランス語教授(47)の「天国と地獄」

女性音楽家(27)を捨てて刺された
フランス語教授(47)の「天国と地獄」

「教え子」27歳を新妻に選んだ後始末……

168

140

166

157

49

176

171

32

174

28

22

文春図書館「真珠湾攻撃」他
147

鶴聖戦 藤沢棋聖対林九段
136

名将戦 内藤王位対加藤二名人
130

赤塚不二夫のギャグ・ゲリラ
東海林さだおのタンマ君
103

This Week
ソ連新人事を予言したキ氏の眼
遺伝子組み換え論争のオソマツ
日本企業を狙う米国ツアー
36

ニュー足報
浩宮様お好みのギョーザの前身
長島氏「これが男のケジメです」
モロ見えはもうあきらめたのだ
ラグビー場の激しいトイレ戦争
42

ぴーぶる 小柳勇/坂田明
富士真奈美ほか
75

Tea Time 中山あや
123

青い目の妻たち アン・中野
文春クリニック……淑女の雑誌から……
スクリーン……紳士の新聞より……
ゴルフ……今週の洋司……
短歌・俳句……読者と編集長の真……
120

大英帝国 貴族の商法
世界の味 山村美智子/野田聖人/レシエン
●田中曾根政権七人衆——編纂部制作独自つき
●ベトナム戦死者五七九三九人の嘆きの壁
●決起したロンドンの売野郎たち
●元柔道球場を改造させた空前のバイクブーム
●オリーブの達人・岡崎勝子の「成熟」
●今週のオトコ ユー・ティ・メン・ユニー
88

グラビア
新連載 私の英会話履歴書 佐藤直子
88

好評連載
彩のとり河 松本清張
零戦燃ゆ 柳田邦男
116

人物風土記 戸板康二
女の口髭 田辺聖子
58

テレビドラマ内緒ばなし 野坂昭如
大山勝美
60

今週のこぼれ……23



フレンチサラダ 新発売!

